

シンガポールの人々の

コミュニケーションの特徴

あやめ野中学校 栗村 咲里奈

<テーマ決定の理由>

シンガポールのコミュニケーションについて知り、世界に通じるコミュニケーションを学びたいと思ったから。

はじめに

～多民族国家～

シンガポールには中国系・マレー系・インド系など、たくさんの人々が生活しており、日常生活の中で中国語、タミル語、英語など、様々な言語が聞かれます。シンガポールは、色々な民族の人々が暮らしているため、日本とは異なり、「シンガポール人」という強い特徴があるわけではないように思いました。その中でも、私がホームステイをしている中で感じた、シンガポールの人々のコミュニケーションの特徴について紹介します。



1 話し方について

「So」より「Because」を使う！

会話で「So」よりも「Because」を多く使っていました。つまり、ほとんどの場合、結論が始めにくる話し方をしているということです。私たちも、「So」を用いて長々と話すよりも、「Because」を使って、結論から話した方が、親しみやすいと思われるでしょう。

2 フォレセントについて

シンガポールの人は、仲良くなりたい時やお別れ
のとき、フォレセントを渡す習慣がある？

私はホームステイ中に、バッテリーの友達に初めて
会ったとき、また、お別れのときにフォレセントをもらいま
した。バッテリーからも、初めて会ったときと、お別れのとき
に手紙をもらいました。シンガポールには、「フォレ
セントを渡す」というコミュニケーション方法がある
のではないのでしょうか。

3 買い物について

シンガポールには「〇for〇\$」という値段の表示が
多く、おまけがついてくるということも、たくさんありま
した。そのため、とても手頃な買い物をす
ることができました。また、日本と比べて
店員さんがとてもフレンドリーで、お客さ
んとのコミュニケーションを大切にし
ているんだなと思いました。



おわりに

今回初めてホームステイを経験して、外国人と会話する
ことの楽しさや、多民族国家であるシンガポールのよ
さなど、多くのことを学ぶことができました。

来年、バッテリーが札幌に来たときに、バッテリーも多くのこ
とを経験し、学ぶように、しっかりサポートしてあげたい
と思います！